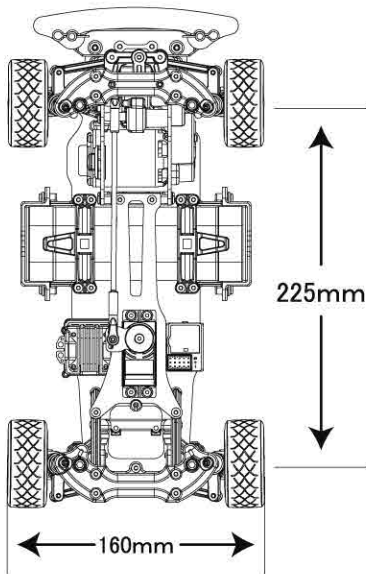


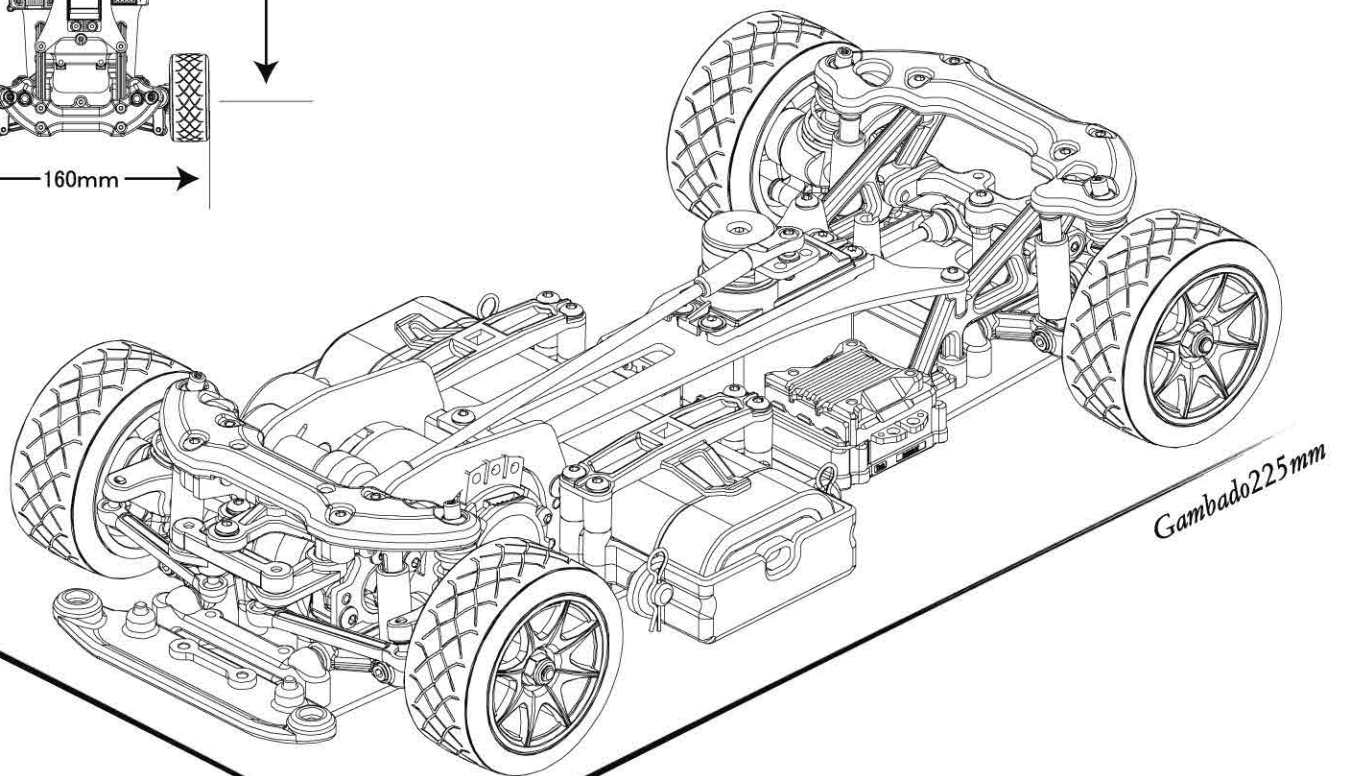
Gambado

Prestanda Strut Suspension
225mm

組み立て/取扱説明書 Assembly/Instructions



組み立て前に必ず説明書を最後までよく読み、理解してください。
Study the instructions thoroughly before assembly.



Gambado225mm

- FF TWO FRONT WHEEL DRIVE
- PRESTANDA STRUT SUSPENSION
- 2.0t FRP CHASSIS
- 4 BEVEL GEAR DIFFERENTIAL
- ROAD CLEARANCE : 5mm
- WHEELBASE : 225mm
- OVERALL WIDTH : F160mm R160mm
- WEIGHT : 1100g

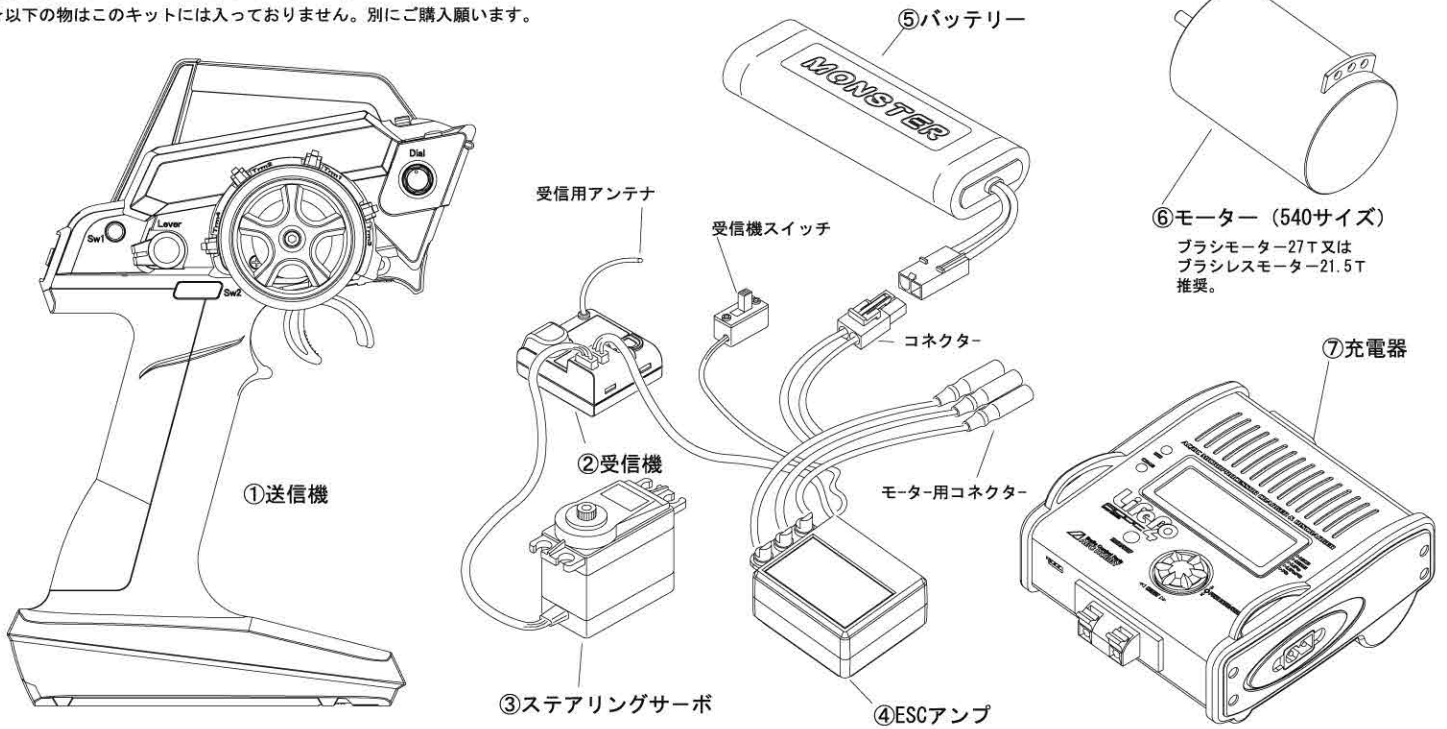
※本製品は21.5Tブラシレスモーター及び27Tブラシモーター使用を前提に開発されております。
※本書は、組み立て完成後も大切に保管してください。

Radio Control Parts
ABC HOBBY

THE ITEMS REQUIRED FOR DRIVING.

『走行までに必要なもの』

★以下の物はこのキットには入っておりません。別にご購入願います。



①送信機
ドライバーの指先の操作を電波信号に変換し、アンテナから受信機に向かって発信します。

②受信機
送信機からの電波信号を受け取りサーボ/ESCに指令を送ります。

③サーボ
受信機から送られてきた信号に従い内部モーターを制御し、ステアリングをコントロールします。

④ESCアンプ
受信機から送られてきた信号に従いモーターの回転速度を変え、車のスピードをコントロールします。

⑤バッテリー
ラジオカーを走行させる電源です。何度も繰り返し充電して使用することができます。ニカド/水素ニッケル(7.2V)/リチウムポリマー (7.4V)バッテリーなどが最適です。2000mAh⇒3600mAh容量の数値が多くなるほど長時間の走行が可能です。

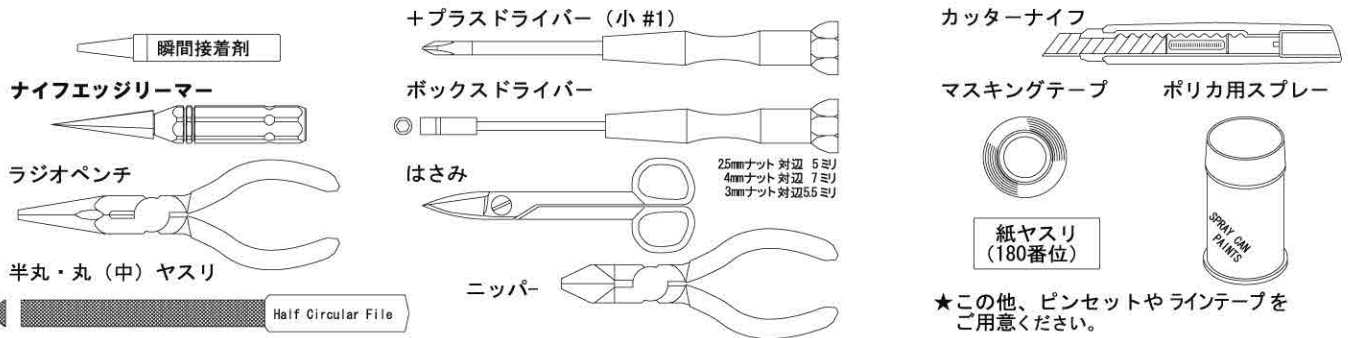
⑥モーター
ラジオカーを走行させる動力です。一般的に540サイズと呼ばれるものが搭載可能です。ブラシモーター/ブラシレスモーターからお選びください。21.5T⇒17.5Tと数値が少ない程高速回転でスピードが出来ます。

⑦充電器
バッテリーの充電を走行時に必要です。ニカドバッテリー/水素ニッケルバッテリー/リチウムイオンバッテリーの種類によりお選びください。その他に急速充電器/普通充電器により充電時間が異なります。また使用環境に応じて入力電源をAC100V/DC12、お選びいただけます。

TOOLS REQUIRED

『完成させるのに必要な工具』

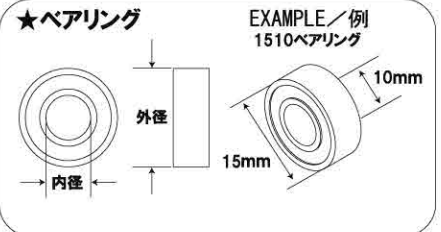
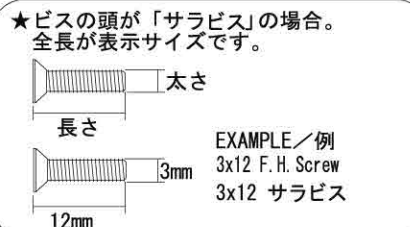
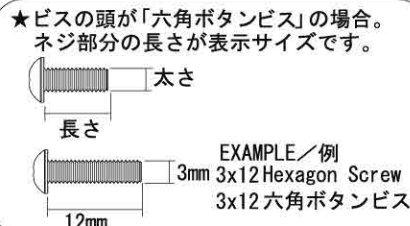
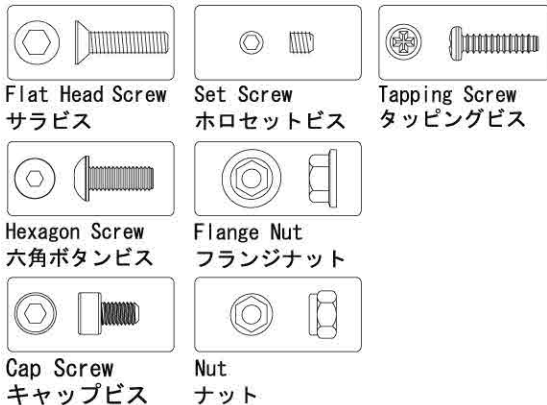
★以下の物はこのキットには入っておりません。別にご購入願います。

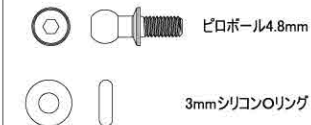
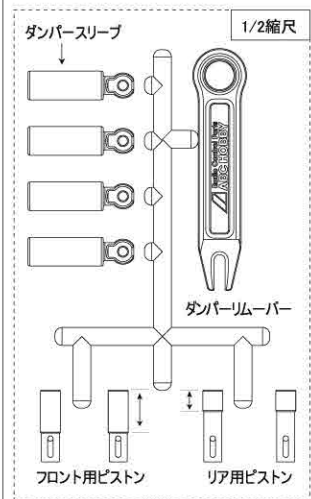


★この他、ピンセットやラインテープをご用意ください。

SCREWS AND NUTS NAME.

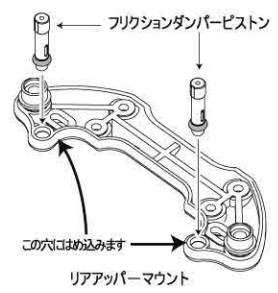
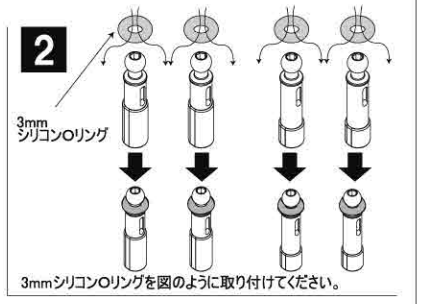
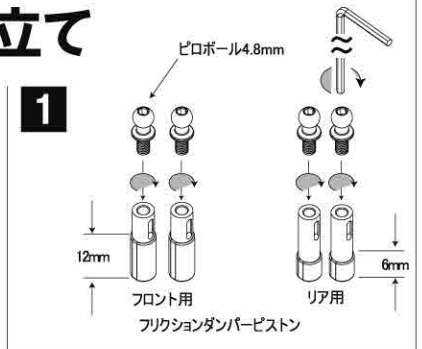
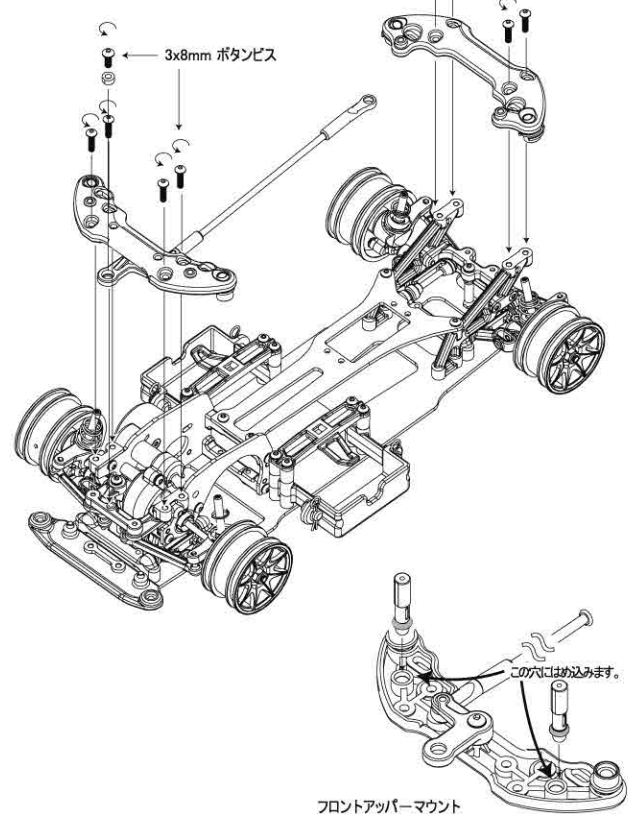
《使用するビス類の解説》



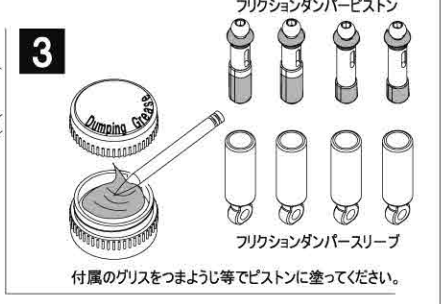
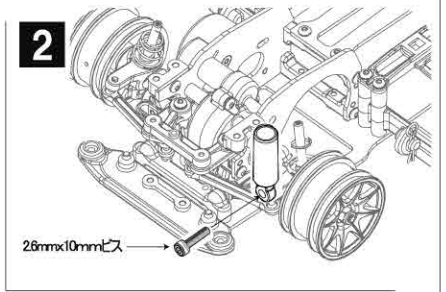
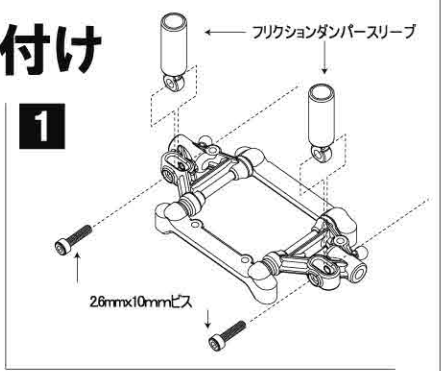
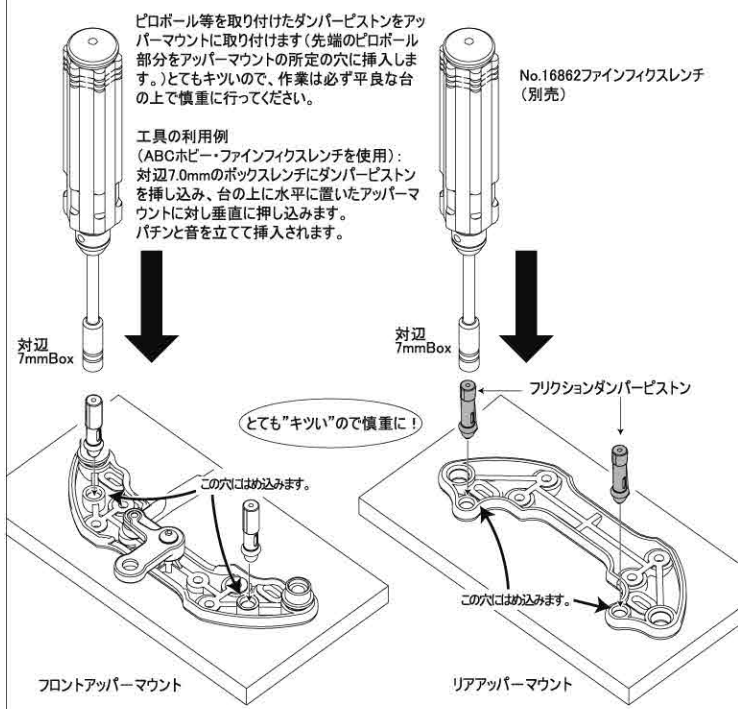
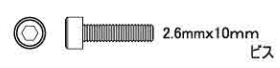


1 フリクションダンパーの組み立て

下記の図のように9本のビスを緩めてフロントアッパーマウント/リアアッパーマウントを取り外してください。

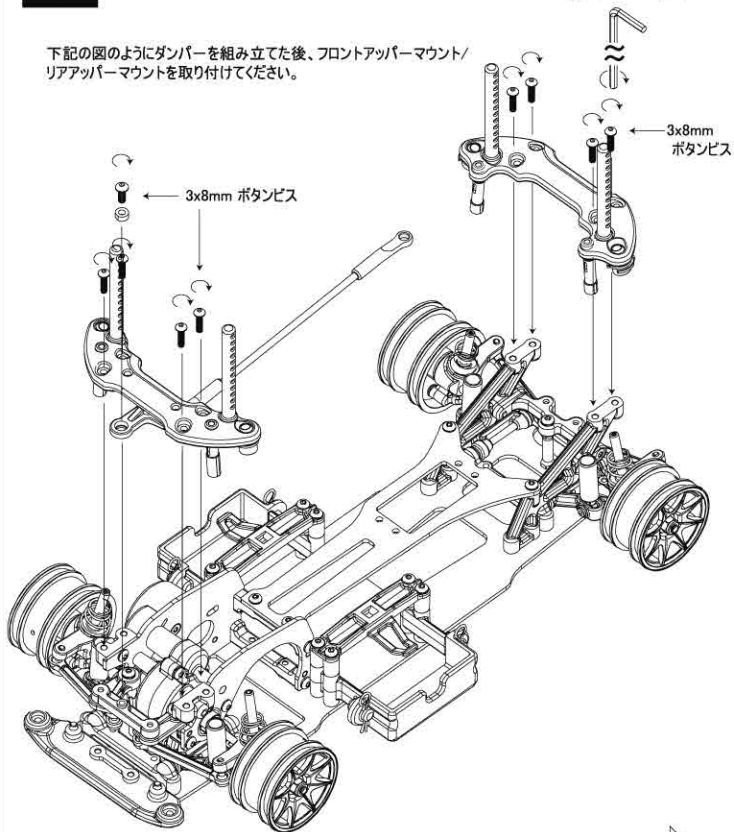


2 フリクションダンパーの取り付け



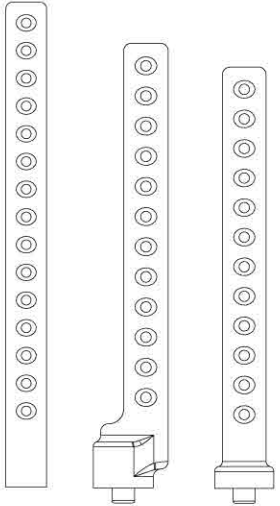
3 アッパーマウントの取り付け

下記の図のようにダンパーを組み立てた後、フロントアッパーマウント/リアアッパーマウントを取り付けてください。

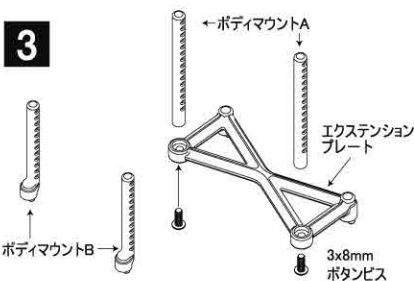
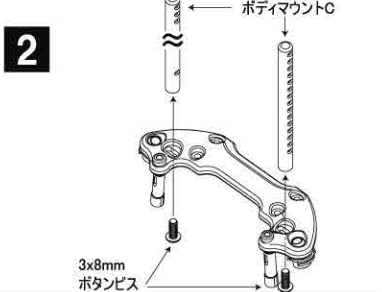
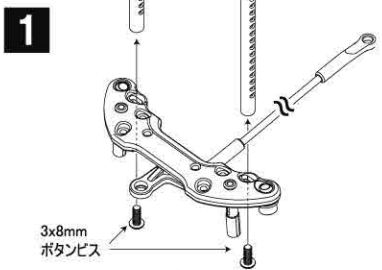


※タミヤ社製ボディを搭載する場合はエクステンションプレートとボディマウントBをお使いください。

3x8mm ボタンビス

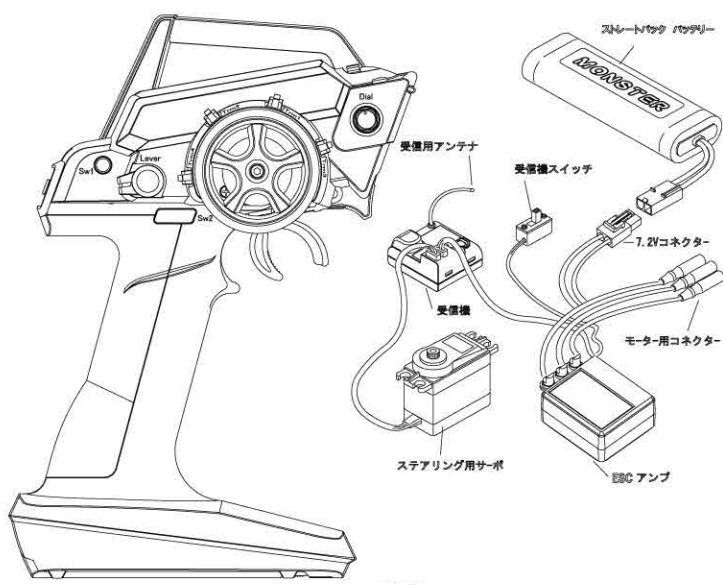
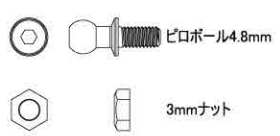
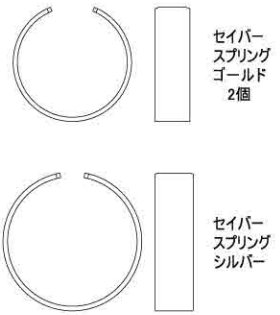
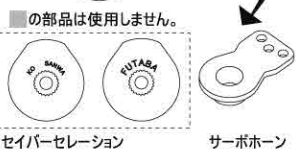
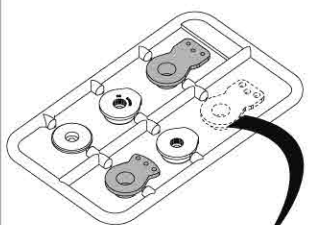


ボディマウントA ボディマウントB ボディマウントC



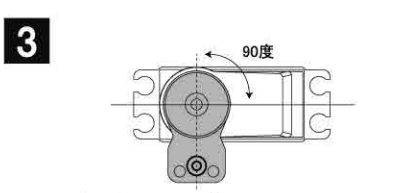
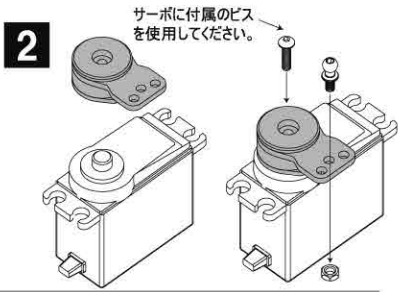
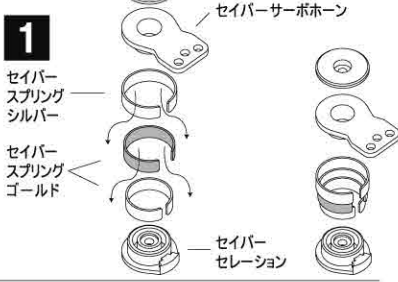
4 ラジオコントロールメカのチェック

★以下の物はこのキットには入っておりません。別にご購入願います。



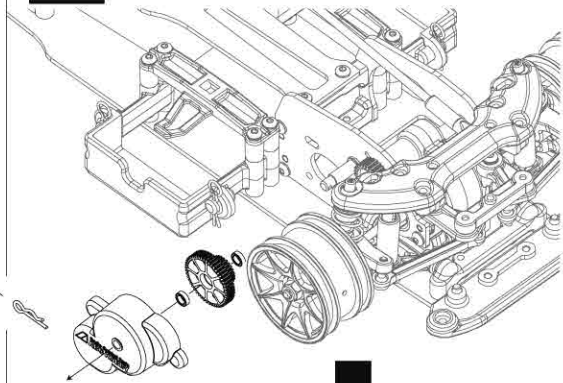
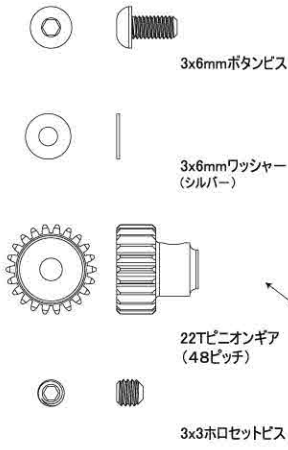
ステアリングホイールを図のように右に操作した時にサーボセイバーが図の方向に動作する事を確認してください。ステアリングホイールの操作方向と逆にサーボセイバーが動作する場合は、送信機のステアリングリバース機能を調整してください。

※ステアリングリバース機能は送信機の取扱説明書を参照ください。

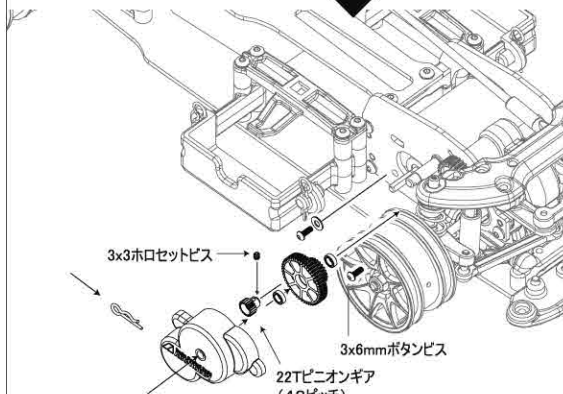


※サーボセイバーの取り付け方
送信機のステアリングがニュートラル位置にあるとき、上の図のようにサーボセイバーがサーボ本体に対して90度になるように取り付けてください。

5 モーター/ギアの取り付け



ボディピンを外しギアケースとカウンターギアを取り外してください。
注)ベアリングを紛失しないように注意してください。



モーターを3x6mmボタンビスで取り付けてください。
ピニオンギアを取り付けた後カウンターギアを挿入してください。

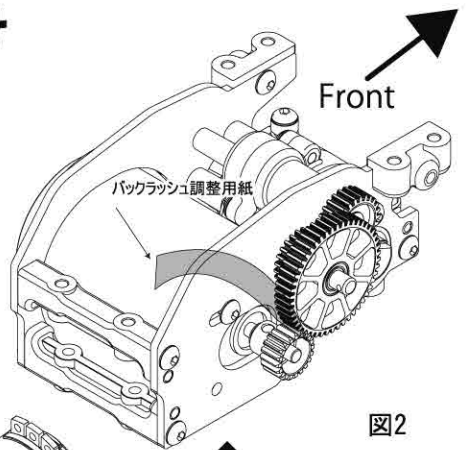


図2

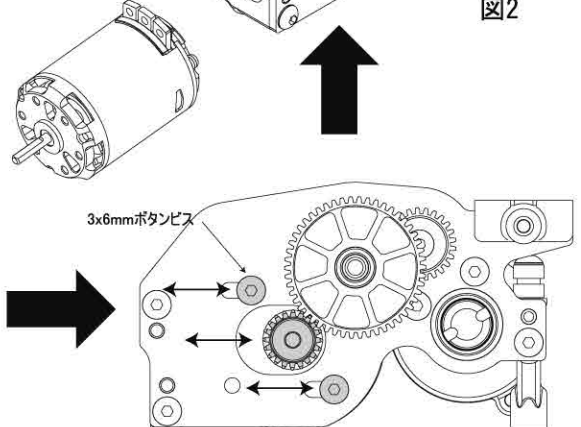


図1

※バックラッシュの調整
図2のように紙を入れてギアのバックラッシュを調整してください。
軽く回る位置で3x6mmビスを固定してください。
紙はコピー用紙等を使用してください。

6 ステアリングリンケージの組み立て

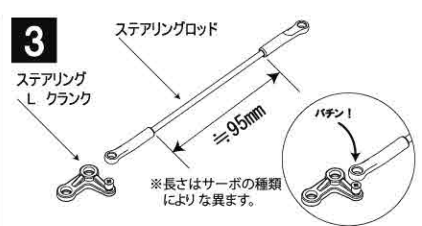
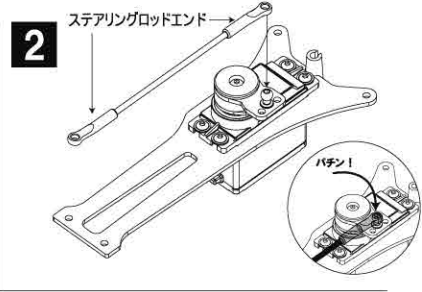
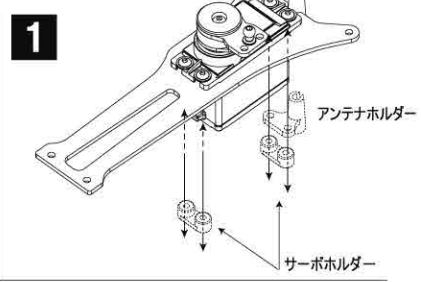
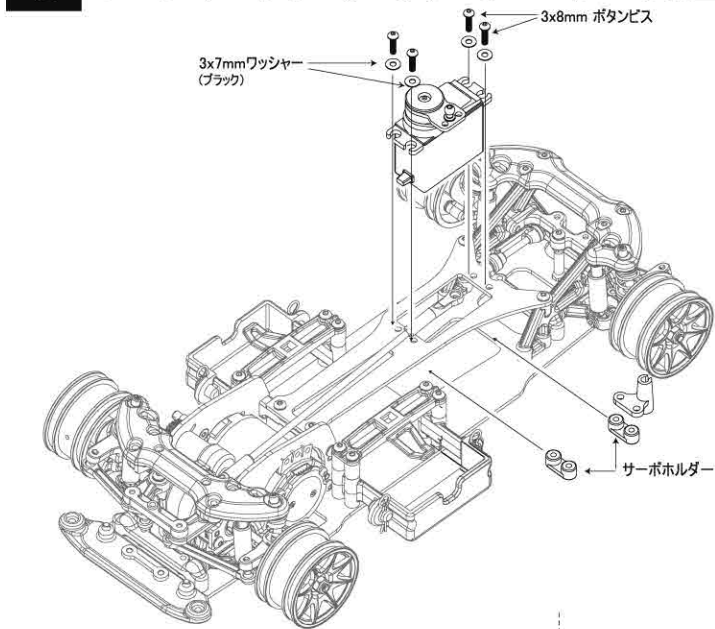
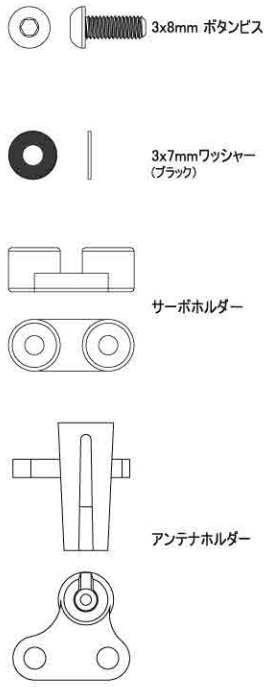


図1のようにステアリングクランクが90°になるように長さを調整してください。

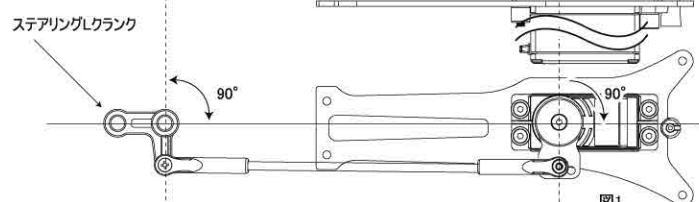
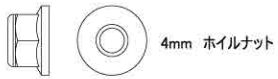


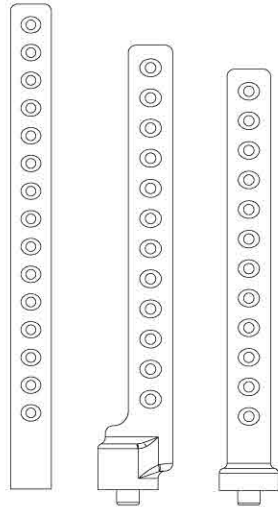
図1



4mm ホイルナット

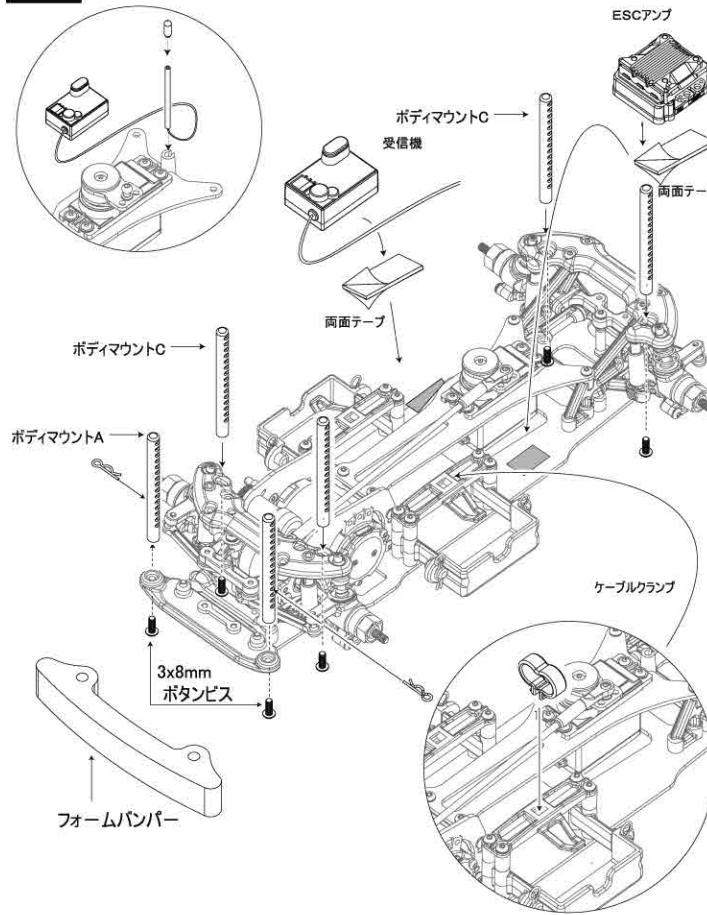


3x8mm ボタンビス

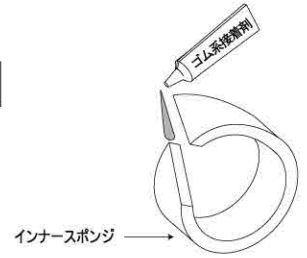


ボディマウントA ボディマウントB ボディマウントC

7 タイヤ/ホイールの組み立て

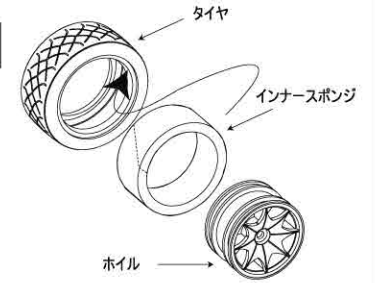


1



ゴム系接着剤
インナースポンジ

2



タイヤ
インナースポンジ
ホイール

3

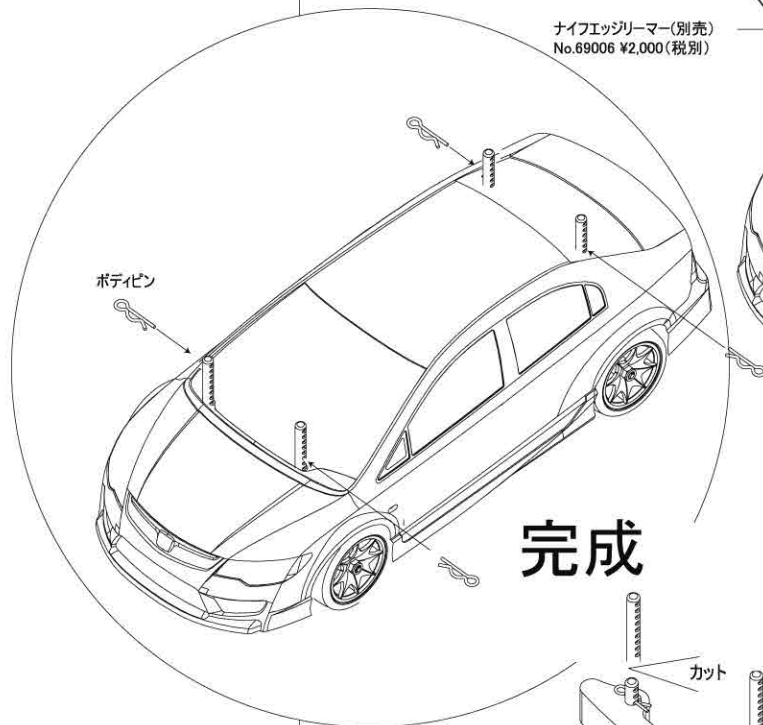


瞬間接着剤

接着を行う前にホイール/タイヤの油分をクリーナーで洗浄してください。

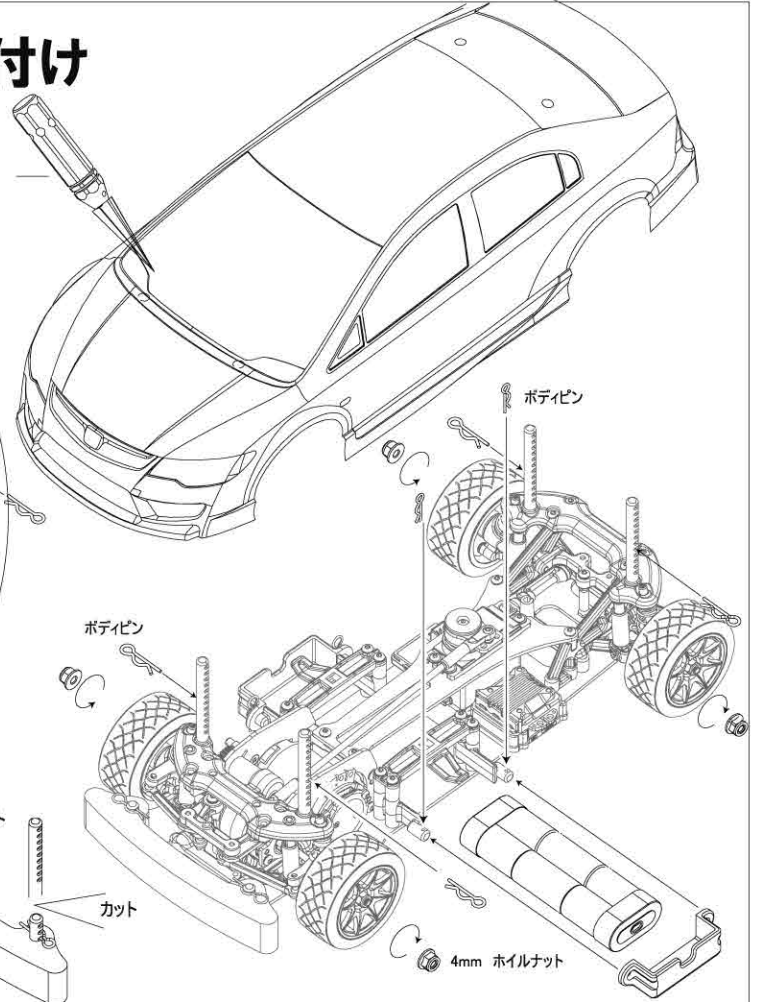
8 ボディの取り付け

ナイフエッジリマー(別売)
No.89006 ¥2,000(税別)



ボディピン

完成



ボディピン

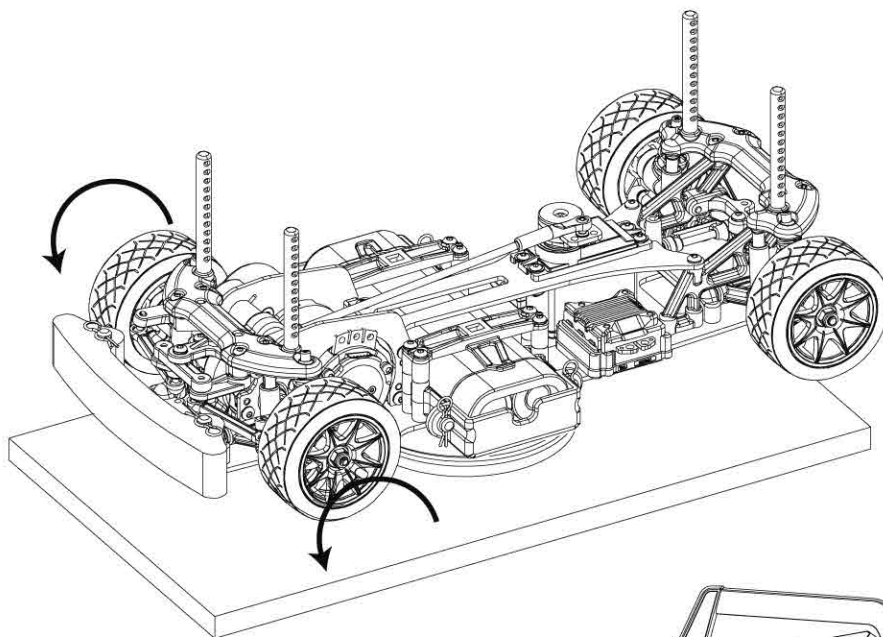
カット

カット

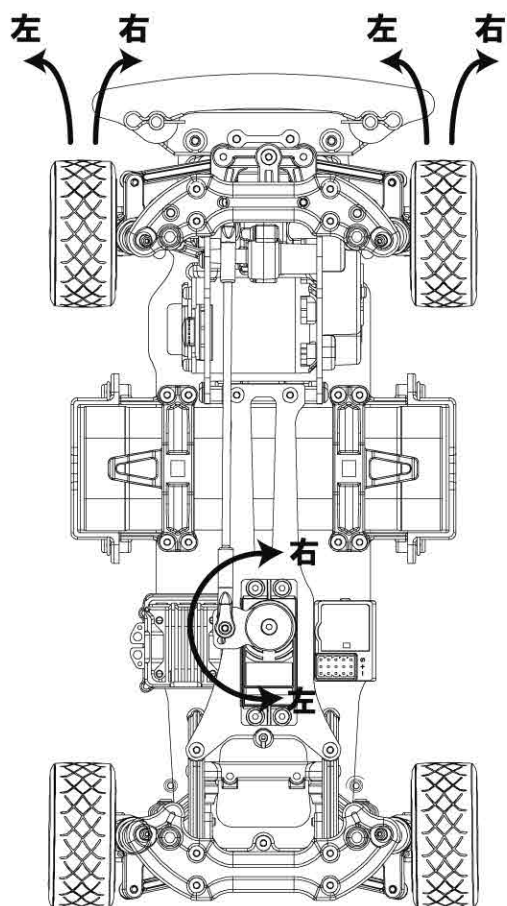
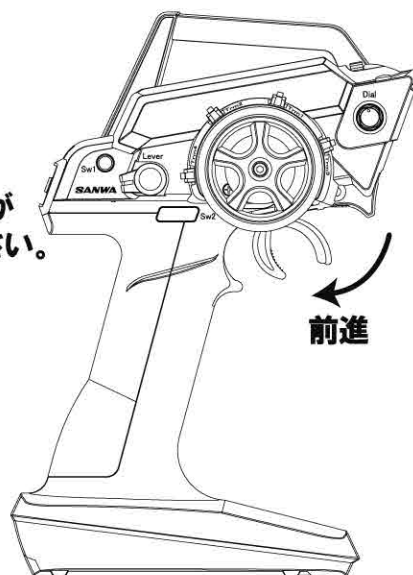
4mm ホイルナット

9 走行前の確認

シャーシを台の上に置き、タイヤが浮いた状態にしてください。



スロットルトリガーを引いて前輪のタイヤがスムーズに回転することを確認してください。



ステアリングを左右に回してフロントタイヤが正しく動作することを確認してください。



10 基本セッティング

★フロントトー角

トーイン1度

フロントトー角について
フロントのトー角をトーインにすると、コーナリング時、ステアリング操作したときに車体の動き出し(初期反応)が穏やかになります。
トーアウトにした場合は初期反応が鋭くなります。

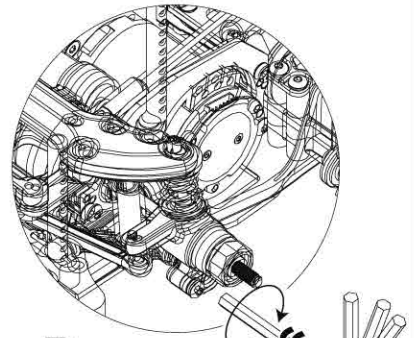
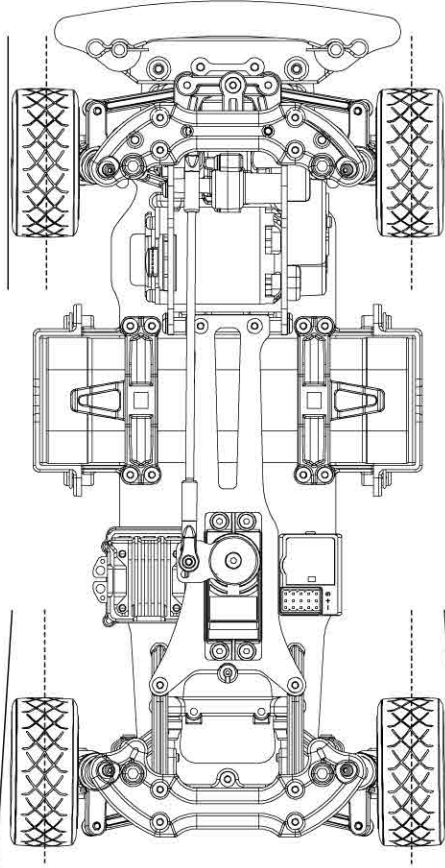
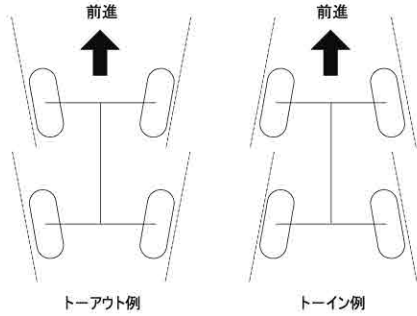


図1
キャンバーは図のようにレンチでステアリングボールの長さを伸ばしたり縮めたりして調整してください。

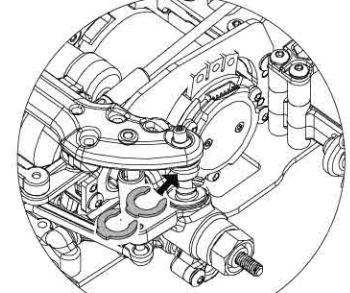


図2
車高は付属の車高調整ワッシャーを図のようにはめて調整してください。

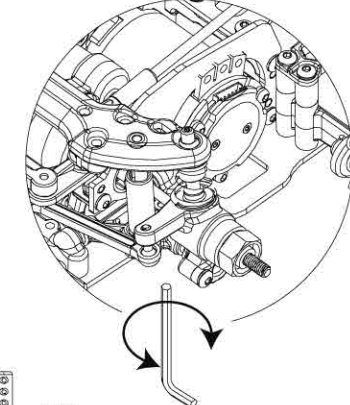


図3
リバウンドは図のようにレンチで3x8mmピスの長さを伸ばしたり縮めたりして調整してください。

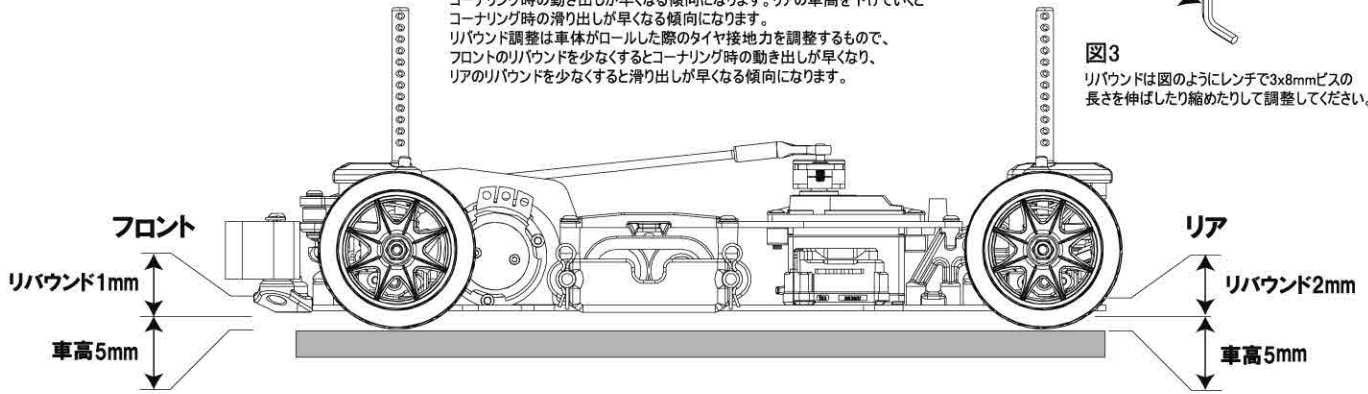
★リアトー角

トーイン3度

リアトー角について
リアのトー角をトーインにすると走行中の安定性が向上します。
トー角を減らすとコーナリング時においてリアの滑り出しが早くなりますので、サーキットのレイアウトや路面コンディションに合わせて調整してください。
(※一般的にリアをトーアウトにすることはありません。)

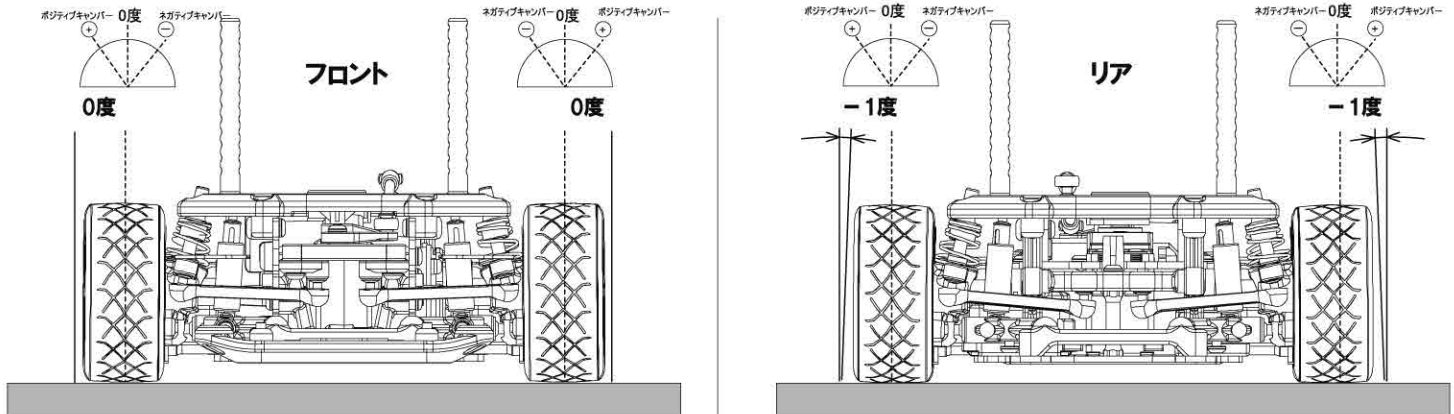
★車高/リバウンド

車高/リバウンドについて(図2 図3参照)
前後の車高が水平状態がニュートラルな特性となります。フロントの車高を下げていくとコーナリング時の動き出しが早くなる傾向になります。リアの車高を下げていくとコーナリング時の滑り出しが早くなる傾向になります。
リバウンド調整は車体がロールした際のタイヤ接地力を調整するもので、フロントのリバウンドを少なくするとコーナリング時の動き出しが早くなり、リアのリバウンドを少なくすると滑り出しが早くなる傾向になります。

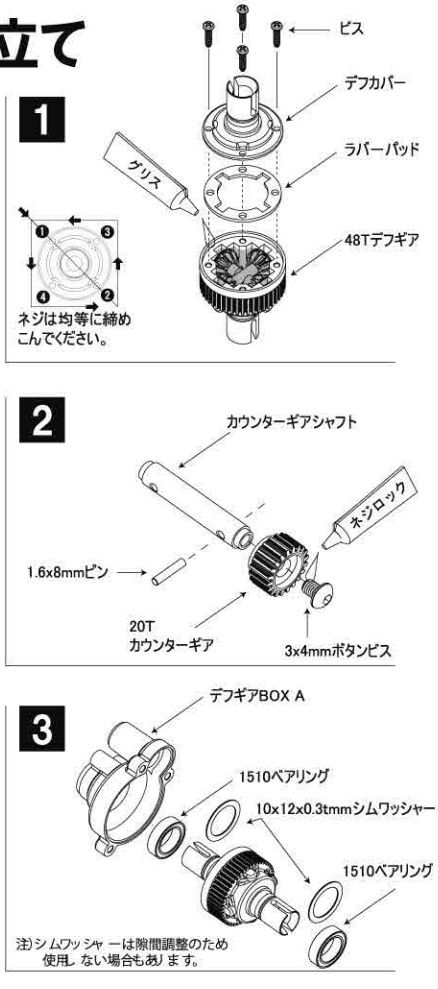
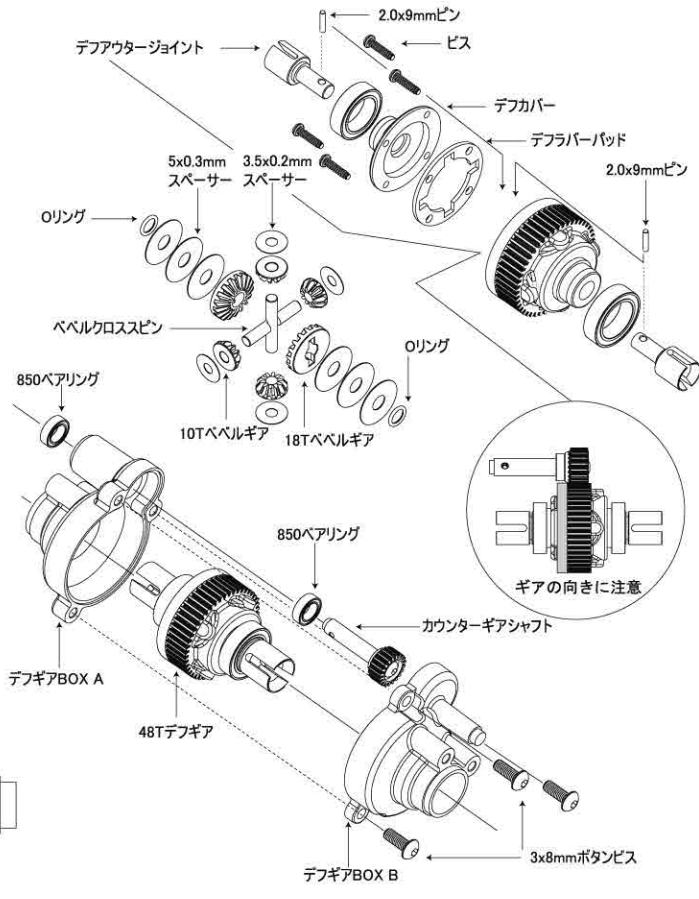
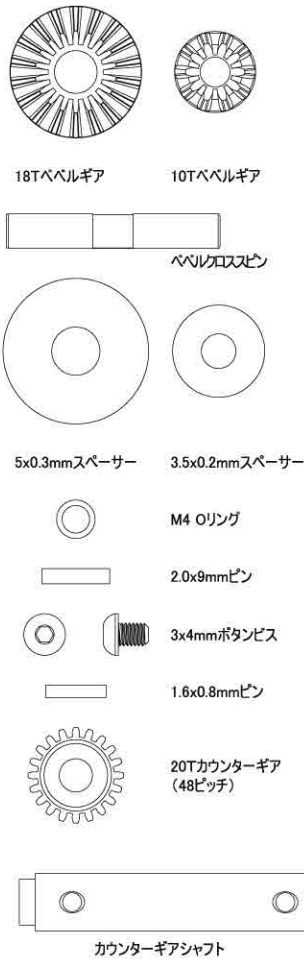


★キャンバー

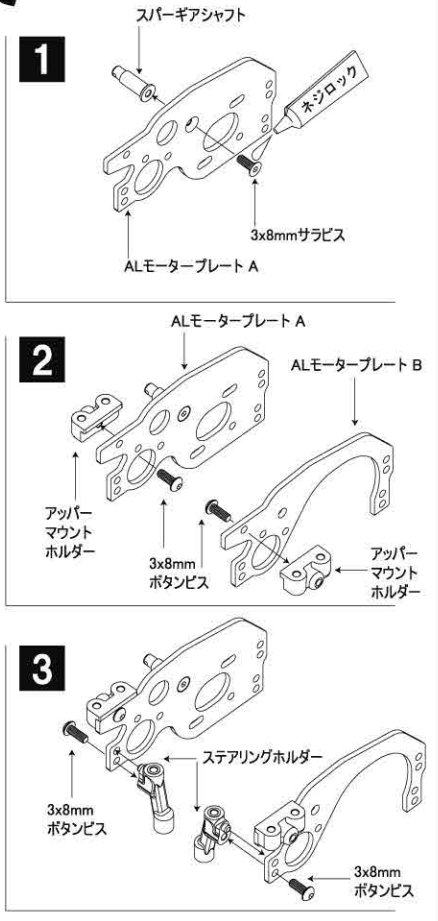
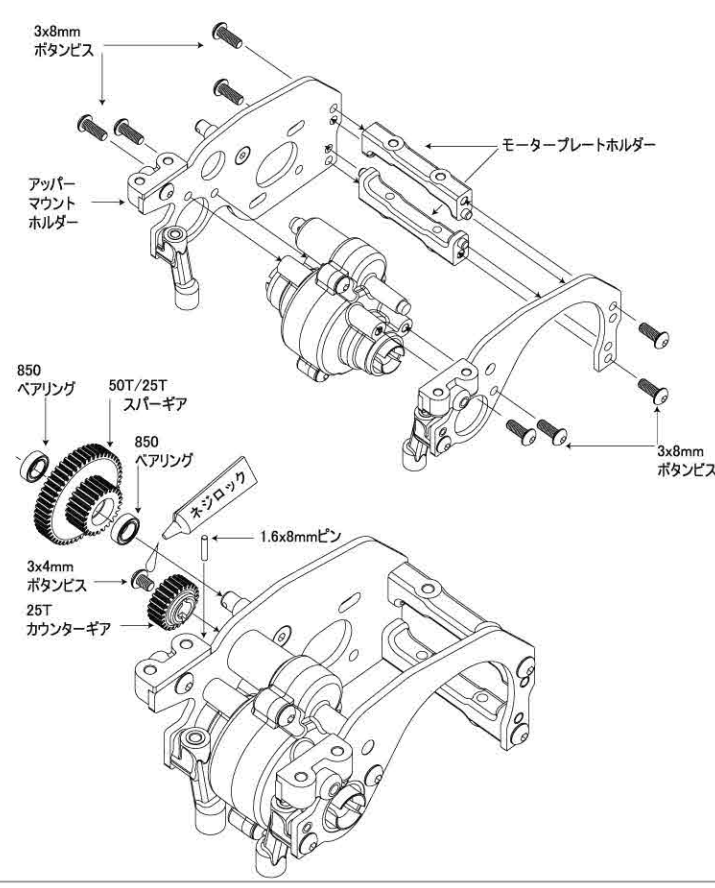
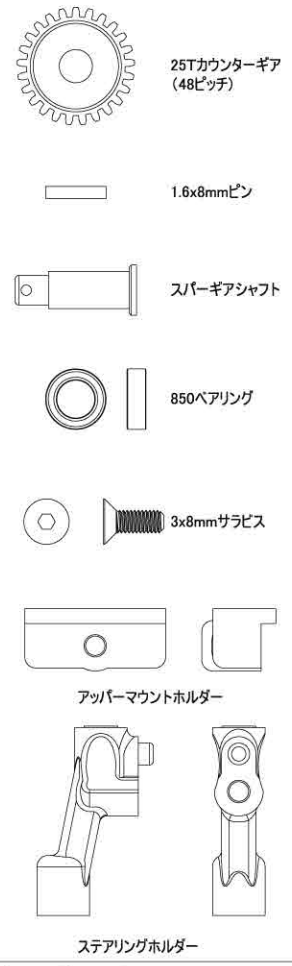
キャンバーについて(図1参照)
キャンバーを調整する事によって、車体がロールした際のタイヤトレッド面の接地状態を変え、グリップ感を調整します。
キャンバーをネガティブ(⊖方向)に調整するとグリップ感が向上します。(※過度のキャンバーはタイヤの偏磨耗を引き起こしますのでご注意ください。)



11 デフギア/ギアBOXの組み立て



12 モーターマウントの組み立て



13 ステアリングワイパーの組み立て



ギア比 48ピッチ

ピニオン	50T/25T スーパーギア使用	50T/20T スーパーギア使用
21T	5.714:1	8.571:1
22T	5.454:1	8.181:1
23T	5.217:1	7.826:1
24T	5.000:1	7.500:1
25T	4.800:1	7.200:1
26T	4.615:1	6.923:1
27T	4.444:1	6.666:1
28T	4.285:1	6.428:1
29T	4.137:1	6.206:1
30T	4.000:1	6.000:1
31T	3.870:1	5.806:1

ギア比の計算

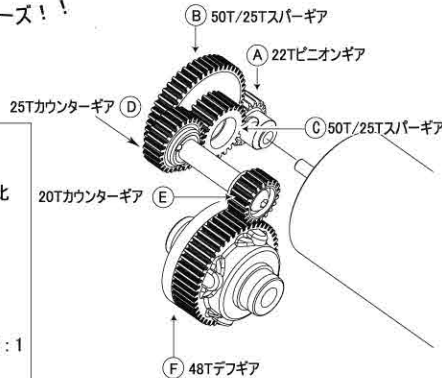
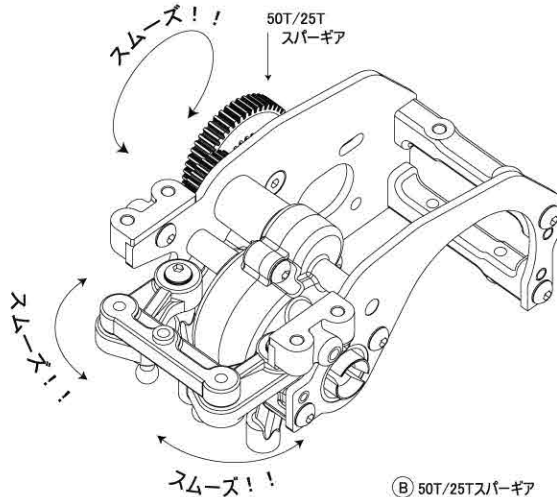
$$\frac{B}{A} \times \frac{D}{C} \times \frac{F}{E} = \text{ギア比}$$



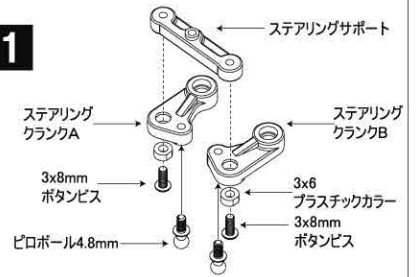
キット標準ギア比

$$\frac{50T}{22T} \times \frac{25T}{25T} \times \frac{48T}{20T} = 5.454:1$$

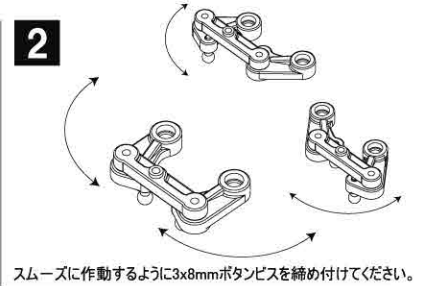
※ギア比を5.8:1に設定するにはオプションの【No25756 50T/30Tスーパーギア ¥600】と31Tピニオンギアが必要です。



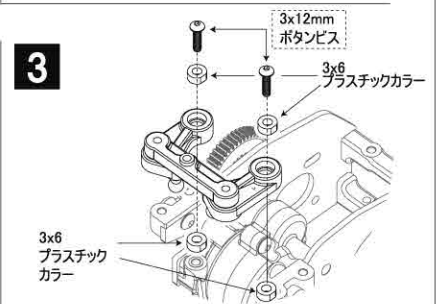
1



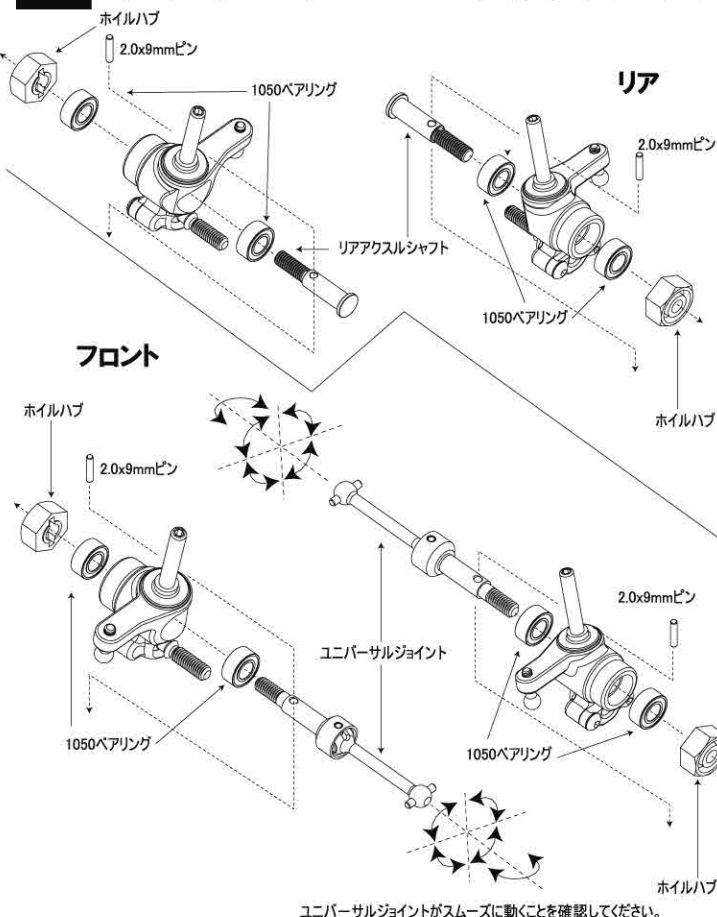
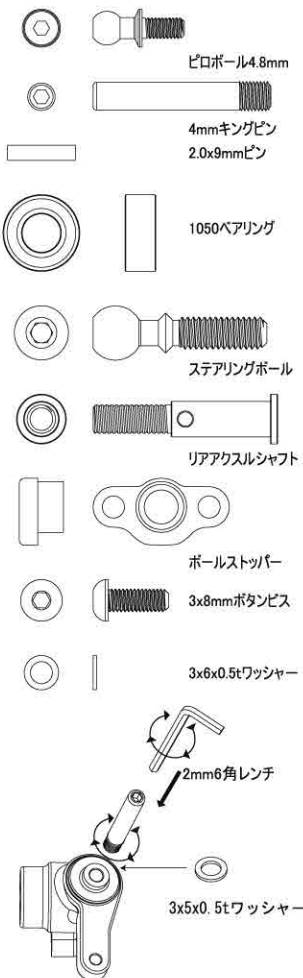
2



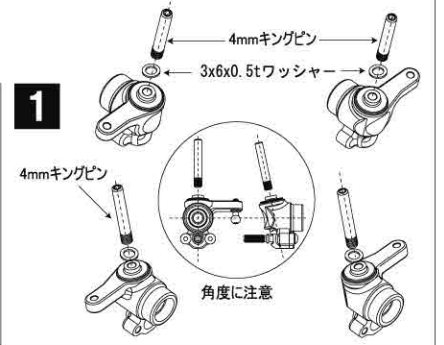
3



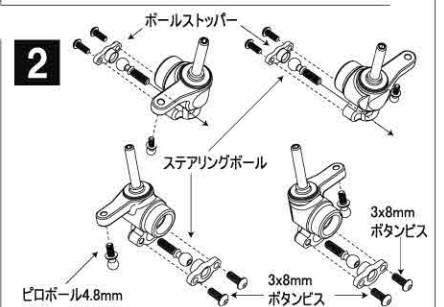
14 ナックルアームの組み立て



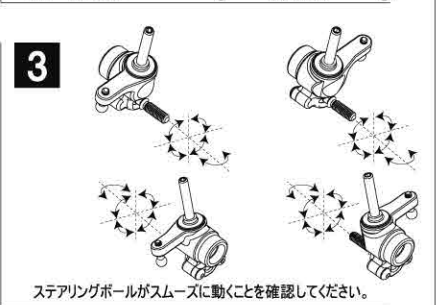
1



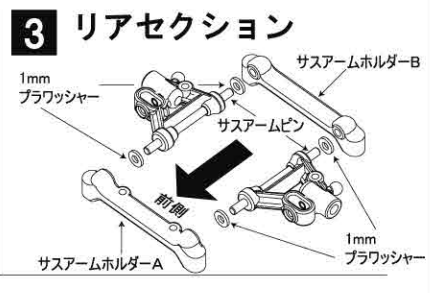
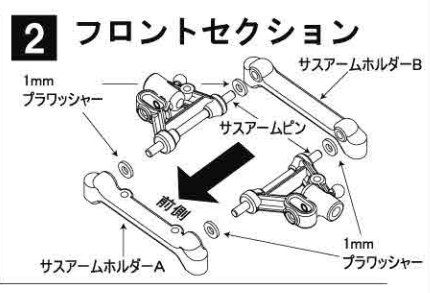
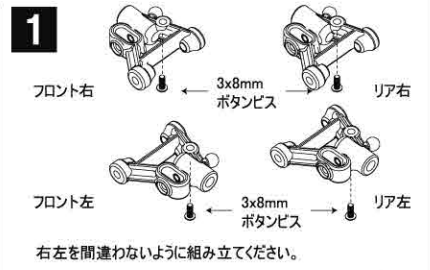
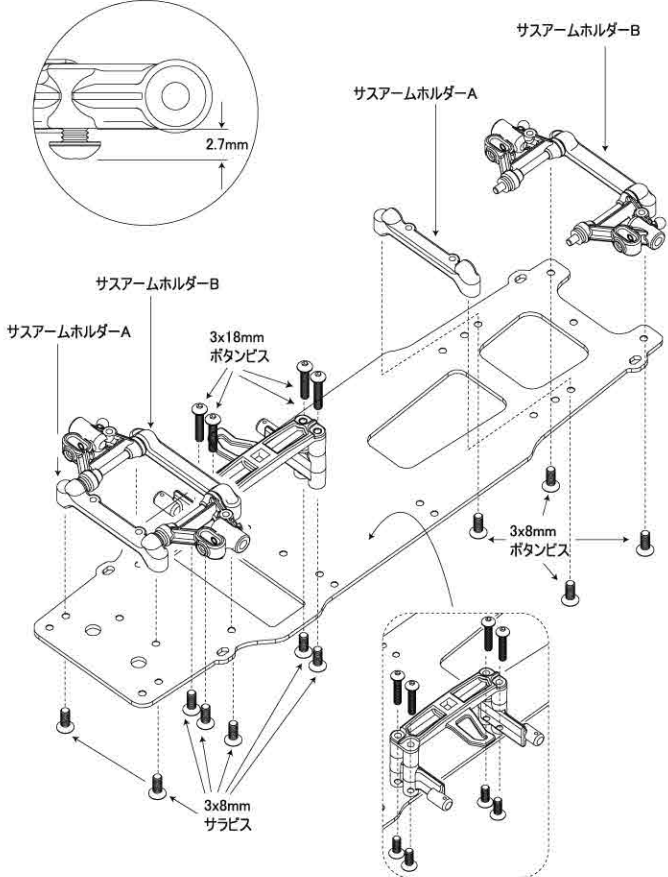
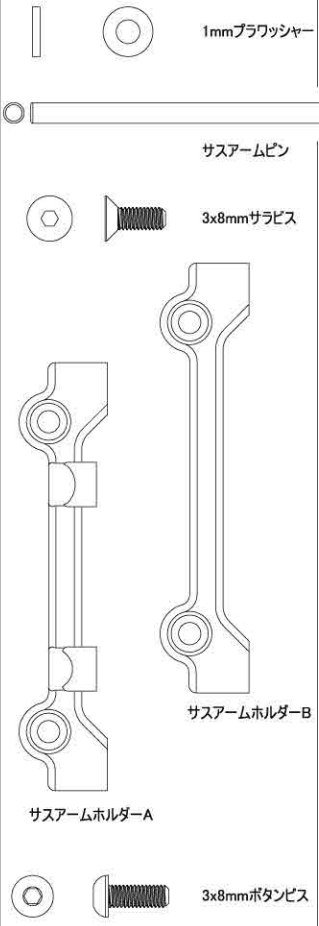
2



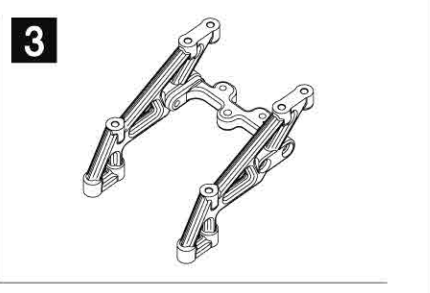
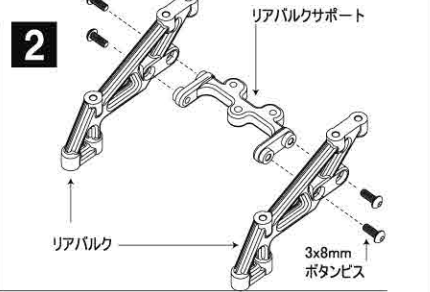
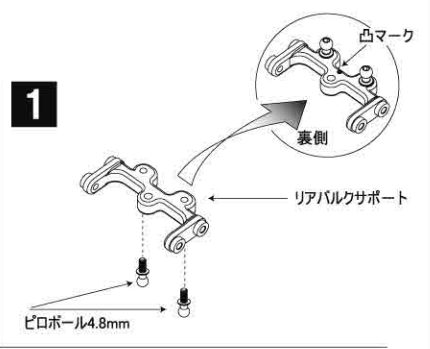
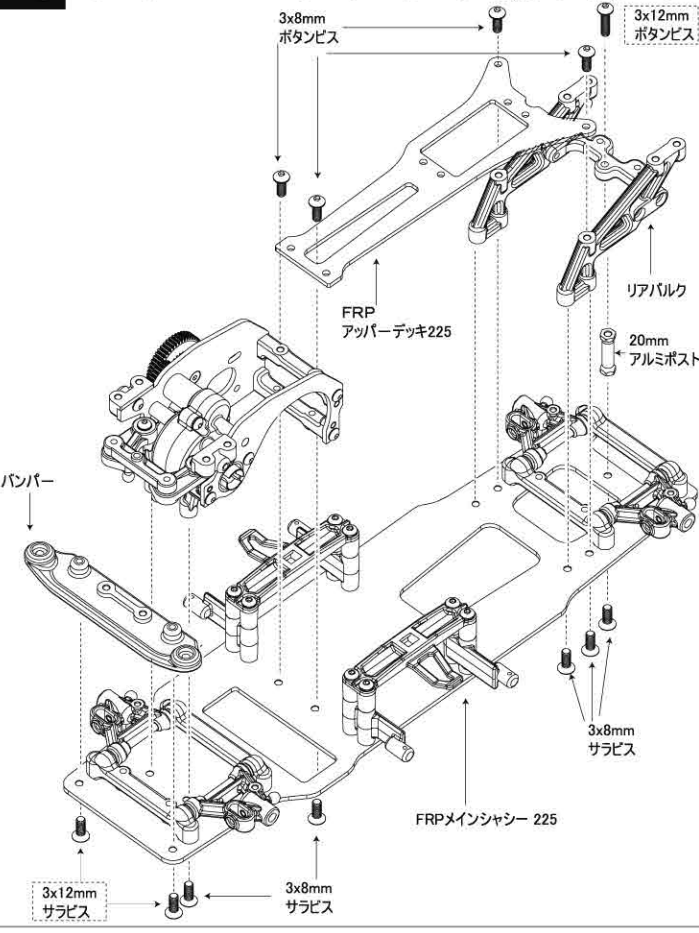
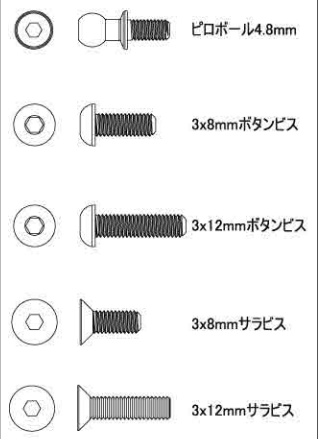
3



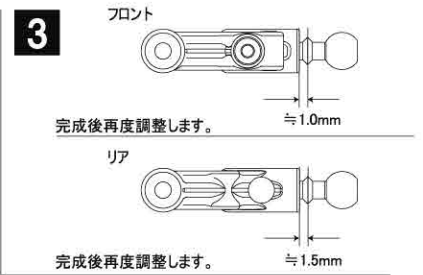
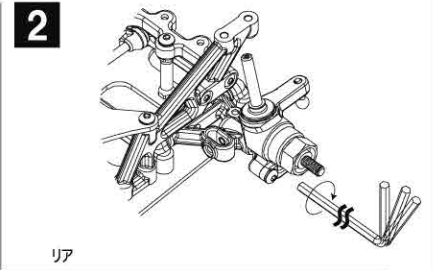
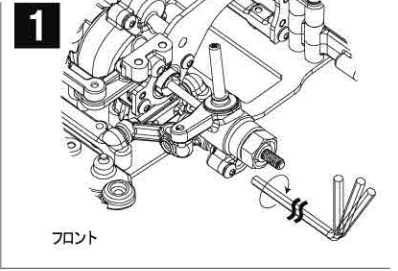
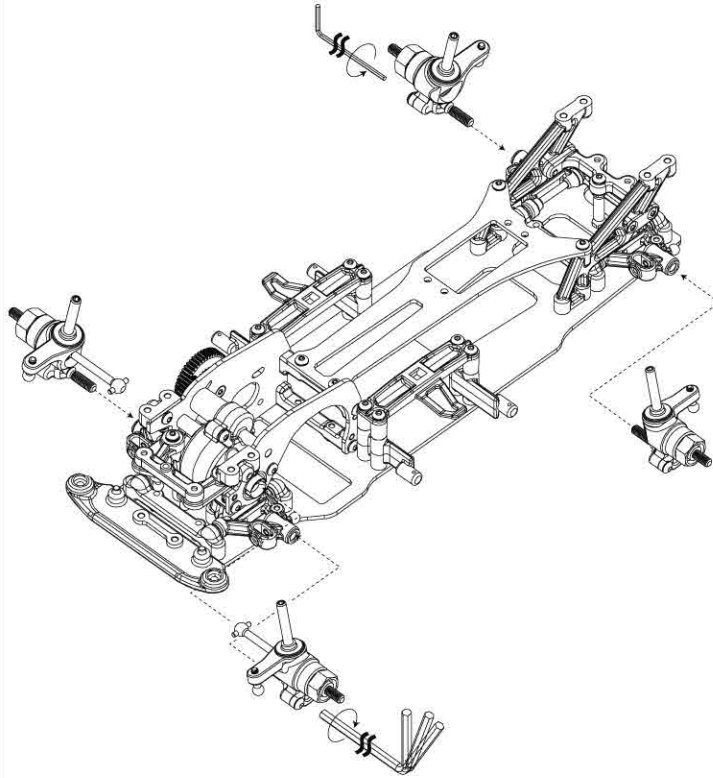
15 サスアームの取り付け



16 アッパーデッキの取り付け

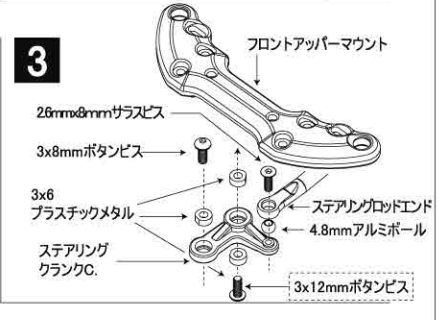
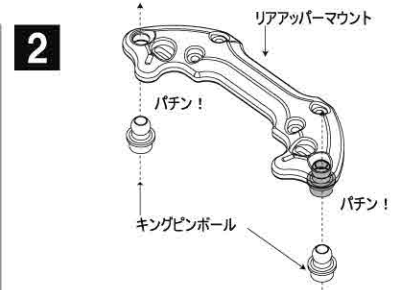
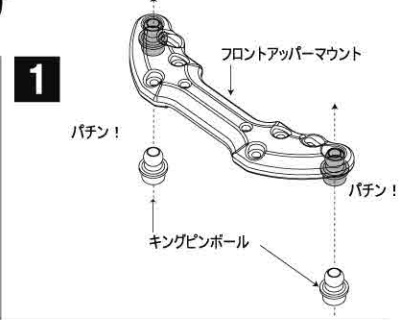
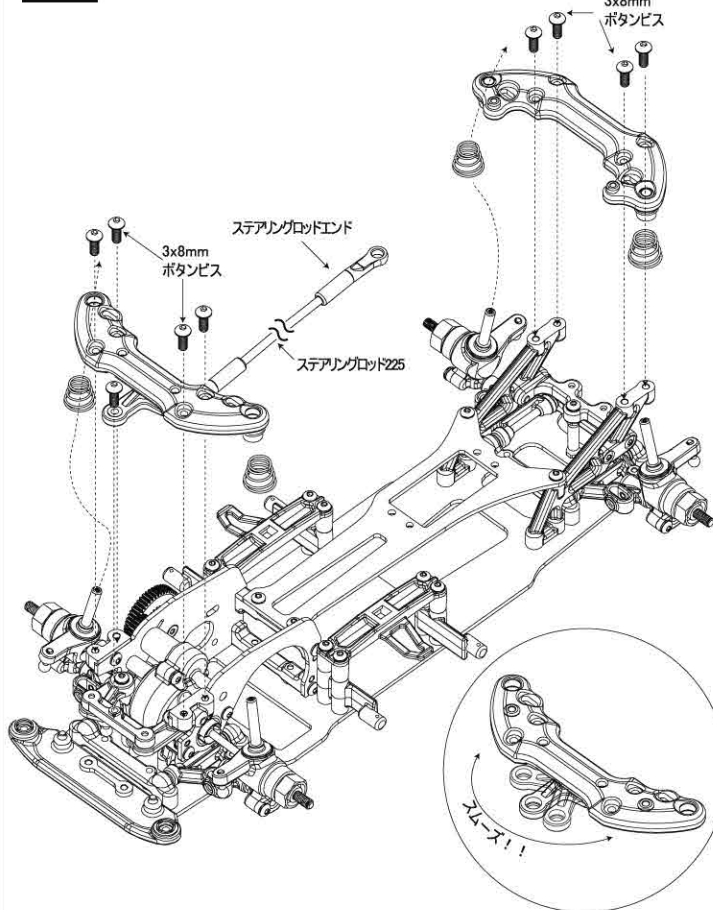


17 ナックルアームの取り付け

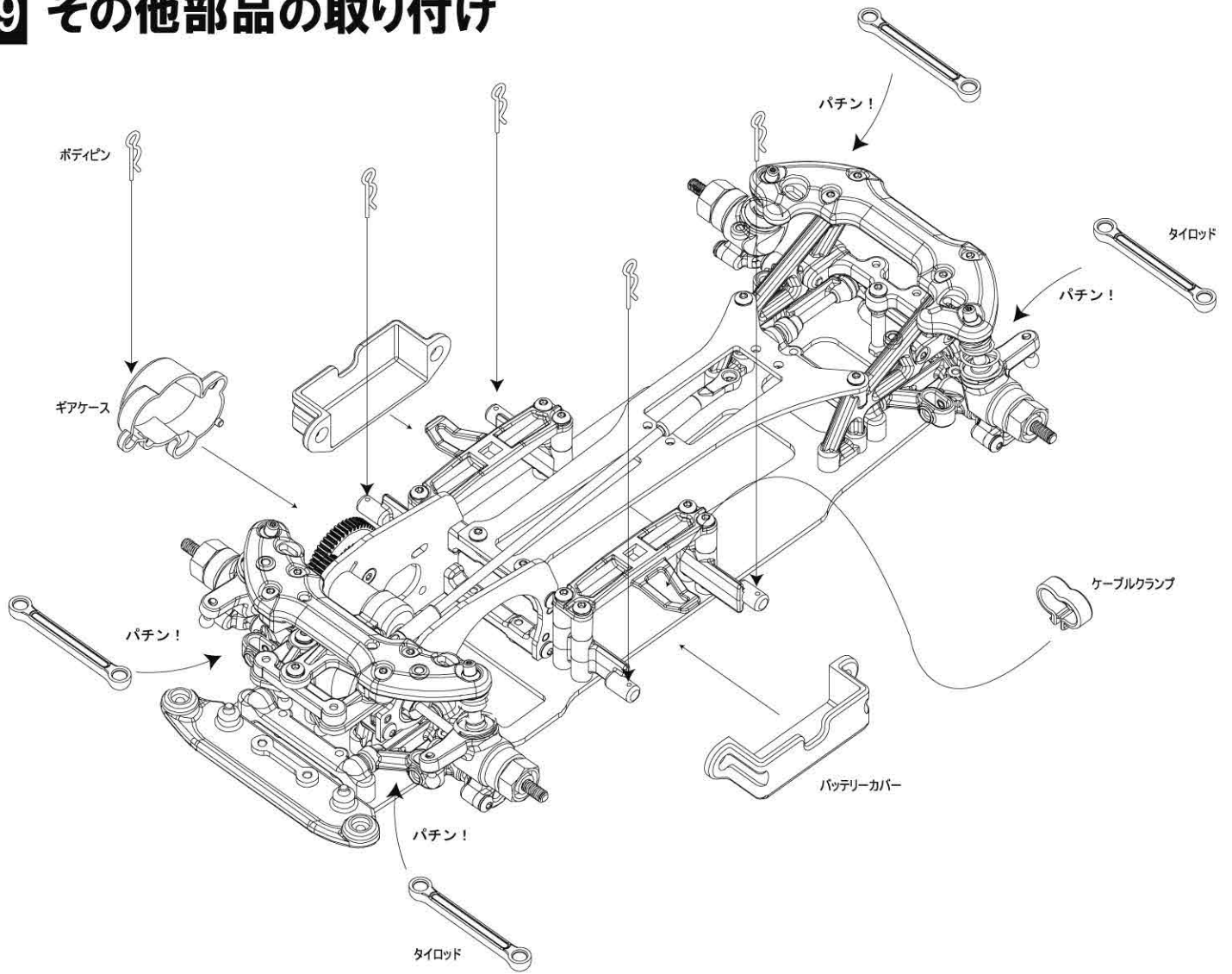


- 3x8mm ボタンビス
- 26mmx8mm サラバスビス
- 4.8mm アルミボール

18 アッパーマウントの取り付け



19 その他部品の取り付け



20 シャシー組み立て完成

